

- ◆ 文脈で使われる「まじめ」とは・・・
・本気
・規範的
⇒
・本気、規範的のどちらともとれる

まじめとは・・・「良い」と考えられている
価値基準に沿って振る舞おうとするさま
⇒自分にとっていいと考える 自己基準
社会にとっていいと考える 社会基準
の2つの基準が存在する

- ◆ 価値基準により、考えられる「まじめ」は4パターンあります。

- ① 自己基準・社会基準とともに満たすパターン

例) 授業が始まる前に余裕をもって教室に入る・・・など

- ② 自己基準だけを満たすパターン

例) 課題をやるのに役に立つので無断で図書館の本を延滞する・・・など

- ③ 社会基準だけを満たすパターン

例) 足が痛く、電車で座っていたかったがお年寄りに席を譲った・・・など

- ④ どちらの基準も満たさないパターン

例) 単位を落とせば留年が決まる試験で解けずに白紙で提出した・・・など

◆ 質問紙調査

- ・上述した4つのパターンの「まじめ」に基づく行動について、
親しい友人／親しくない友人を思い浮かべてもらい、それぞれに「まじめ」だねと言われた時にどのように感じるかを愉快度（どの程度うれしいか）で測定
・「まじめ」といわれる頻度と 自分を「まじめ」と思っているか「同意」を測定

◆ 結果・まとめ

- ・4つのパターンでは、①自己基準・社会基準とともに満たすパターンの愉快度が高い
⇒どちらの基準も満たしているので、「まじめ」にあてはまるパターンと言える
・親しい友人と親しくない友人では、親しい友人からの方が愉快度が高い
⇒親しい友人は、回答者自身にとって影響を与えやすい「重要な他者」なのではないか
・「まじめ」といわれる「頻度」が高い人は、自分を「まじめ」だと思っている

◆ 最後に・・・

質問紙調査にご協力頂いた方々のおかげで、無事このような結果を出すことが出来、卒業論文を完成させることができました。ありがとうございます。「まじめ」に限らず、他人から「こういう性格だよね」と言われる経験はきっとあると思いますが、自分の個性の1つとしてその言葉を受け取っておくのが1番いい受け取り方だと今回学びました。人からの評価を気にしそぎずいきましょう！